



平成17年9月27日

各位

会社名 日立電線株式会社
 代表者 執行役社長 佐藤 教郎
 (コード番号 5812 東証・大証1部)
 問合せ先 人事総務本部総務部長
 石川 正昭
 (TEL. 03-5252-3261)

平成17年9月中間期・平成18年3月期業績予想の修正に関する説明資料

1. 業績予想修正内容の要約(連結)

[単位:億円]

	平成17年9月中間期			平成18年3月期		
	当初 予想	修正後 予想	差	当初 予想	修正後 予想	差
売上高 (当初予想の銅ベースを基準とした金額)	1,880	1,880 (1,790)	0 (△90)	3,900	3,950 (3,700)	50 (△200)
営業利益	55	25	△30	165	110	△55
経常利益	60	34	△26	175	120	△55
税金等調整前当期純利益	37	21	△16	130	90	△40
当期純利益	22	12	△10	76	54	△22

2. セグメント別の状況(連結)

[単位:億円]

	平成17年9月中間期			平成18年3月期			
	当初 予想	修正後 予想	差	当初 予想	修正後 予想	差	
売上高	電線・ケーブル事業	795	850	55	1,630	1,680	50
	情報通信ネットワーク事業	400	320	△80	865	800	△65
	高機能材料事業	665	695	30	1,365	1,435	70
	その他事業	20	15	△5	40	35	△5
	合計	1,880	1,880	0	3,900	3,950	50
営業利益	電線・ケーブル事業	20	12	△8	60	33	△27
	情報通信ネットワーク事業	10	0	△10	42	32	△10
	高機能材料事業	23	10	△13	58	40	△18
	その他事業	2	3	1	5	5	0
	消去又は全社	0	0	0	0	0	0
	合計	55	25	△30	165	110	△55

3. 営業利益の当初予想との乖離要因について(連結)

(1) 平成17年9月中間期

・銅ベース高騰の影響(建値 上期想定405千円/t ⇒ 450千円/t)	△5
・円安の影響	4
・半導体関連事業の回復遅れ、情報ネットワーク部門の売上げ後倒し等の影響	△22
・その他	△7
計	△30

(2) 平成18年3月期

・銅ベース高騰の影響(建値 通期想定380千円/t ⇒ 460千円/t)	△16
・円安の影響	9
・半導体関連事業の回復遅れ、情報ネットワーク部門の売上げ後倒し等の影響	△35
・その他	△13
計	△55